

5. 参考資料

(1) 座談会アンケート

アンケート

それぞれ1つ選んで をつけてください。

Q1. 丹波市佐治地区での取り組みをどの程度ご存知でしたか。また、興味を持ってましたか。

(関西大学との連携による空き家再生、佐治倶楽部などの活動)

1	よく知っていた	2	少しは知っていた	3	全く知らなかった		
1	非常に興味を 持った	2	少し興味を 持った	3	あまり興味を 持てなかった	4	全く興味を 持てなかった
【具体的に興味を持てた点・持てなかった点】							

Q2. 高校と連携した活動内容に興味を持ってましたか。

1	非常に興味を 持った	2	少し興味を 持った	3	あまり興味を 持てなかった	4	全く興味を 持てなかった
【具体的に興味を持てた点・持てなかった点】							

Q3. フリーディスカッションについて、内容に興味を持ってましたか。

1	非常に興味を 持った	2	少し興味を 持った	3	あまり興味を 持てなかった	4	全く興味を 持てなかった
【具体的な理由】							

【裏面へ続く】

Q4. 丹波地域における他大学の活動について、どの程度ご存知でしたか。

また、興味を持ってましたか。

関西学院大学柏原スタジオ (丹波市柏原町)							
1	よく知っていた	2	少しは知っていた	3	全く知らなかった		
1	非常に興味を持った	2	少し興味を持った	3	あまり興味を持てなかった	4	全く興味を持てなかった
兵庫県立大学山南スタジオ (丹波市山南町)							
1	よく知っていた	2	少しは知っていた	3	全く知らなかった		
1	非常に興味を持った	2	少し興味を持った	3	あまり興味を持てなかった	4	全く興味を持てなかった
神戸大学篠山フィールドステーション (篠山市東新町)							
1	よく知っていた	2	少しは知っていた	3	全く知らなかった		
1	非常に興味を持った	2	少し興味を持った	3	あまり興味を持てなかった	4	全く興味を持てなかった

Q5. お住まいの地域で大学生が活動することを期待しますか。また、何を期待しますか。

(現在の活動について又は将来活動することを想定してお答え下さい。)

1	とても期待する	2	どちらかという と期待する	3	あまり 期待しない	4	全く 期待しない
【具体的に期待することをお書き下さい】							

Q6. 本日のフォーラムについて、ご感想・ご意見など自由にお書きください。

--

最後に あなたご自身について、お尋ねします。

住 所

1 佐治地域 2 丹波市内 3 篠山市内 4 兵庫県内の他市町 5 県外

性 別

(男 ・ 女) (学 生 ・ 会 社 員 ・ 公 務 員 ・ そ の 他 ())

職 業

年 齢

(10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代以上)

ご協力ありがとうございました。

「大学地域連携フォーラム in 青垣」座談会 《参加者アンケート集計結果》

日時：平成23年11月3日（木・祝）10:30～11:30

回答数：31

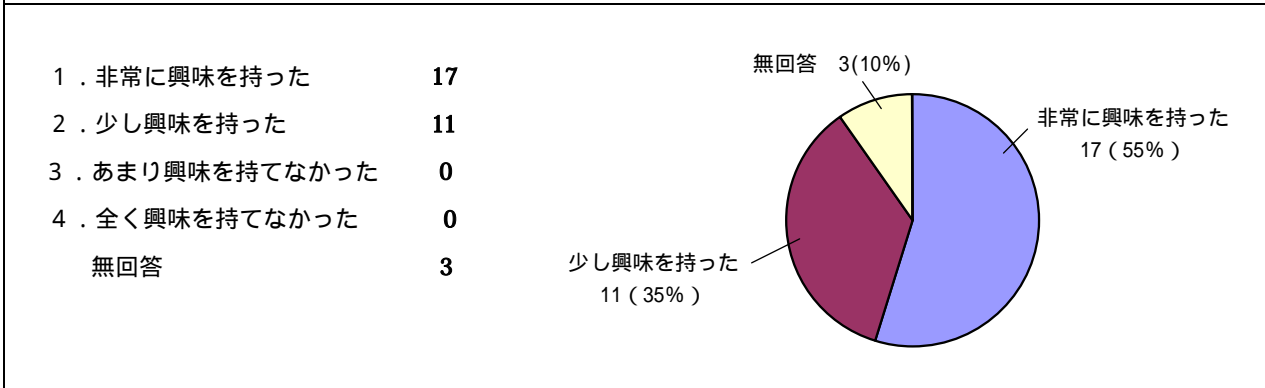
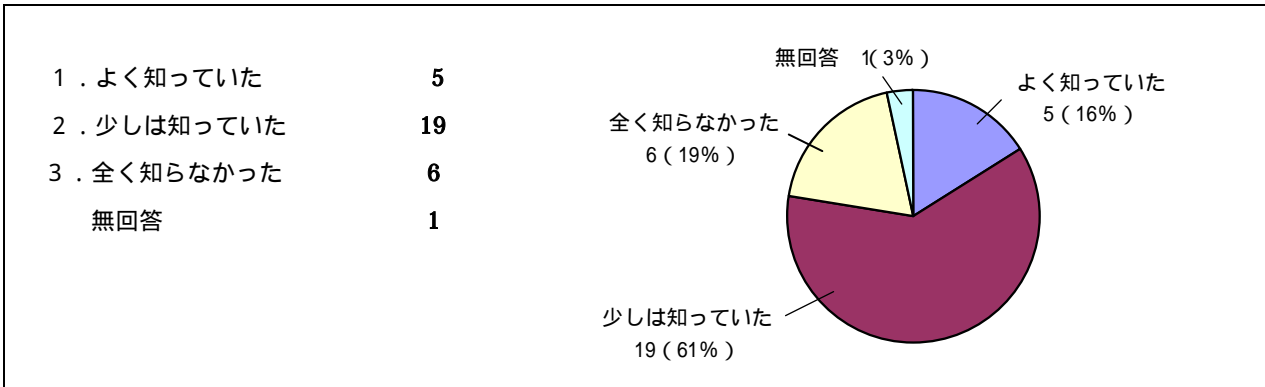
回答率：41%（関係者を除く学生・一般参加者76名のうち31名が回答）

回答者属性

住 所	
佐治地域：4 丹波市内：6 篠山市内：0 兵庫県内の他市町：14 県外：6 無回答：1	
性 別	職 業
男：19 女：11 無回答：1	学生：19 会社員：0 公務員：4 その他：4 無回答：4
年 齢	
10代：1 20代：18 30代：0 40代：1 50代：6 60代以上：4 無回答：1	

Q1.丹波市佐治地区での取り組みをどの程度ご存知でしたか。また、興味を持ってましたか。

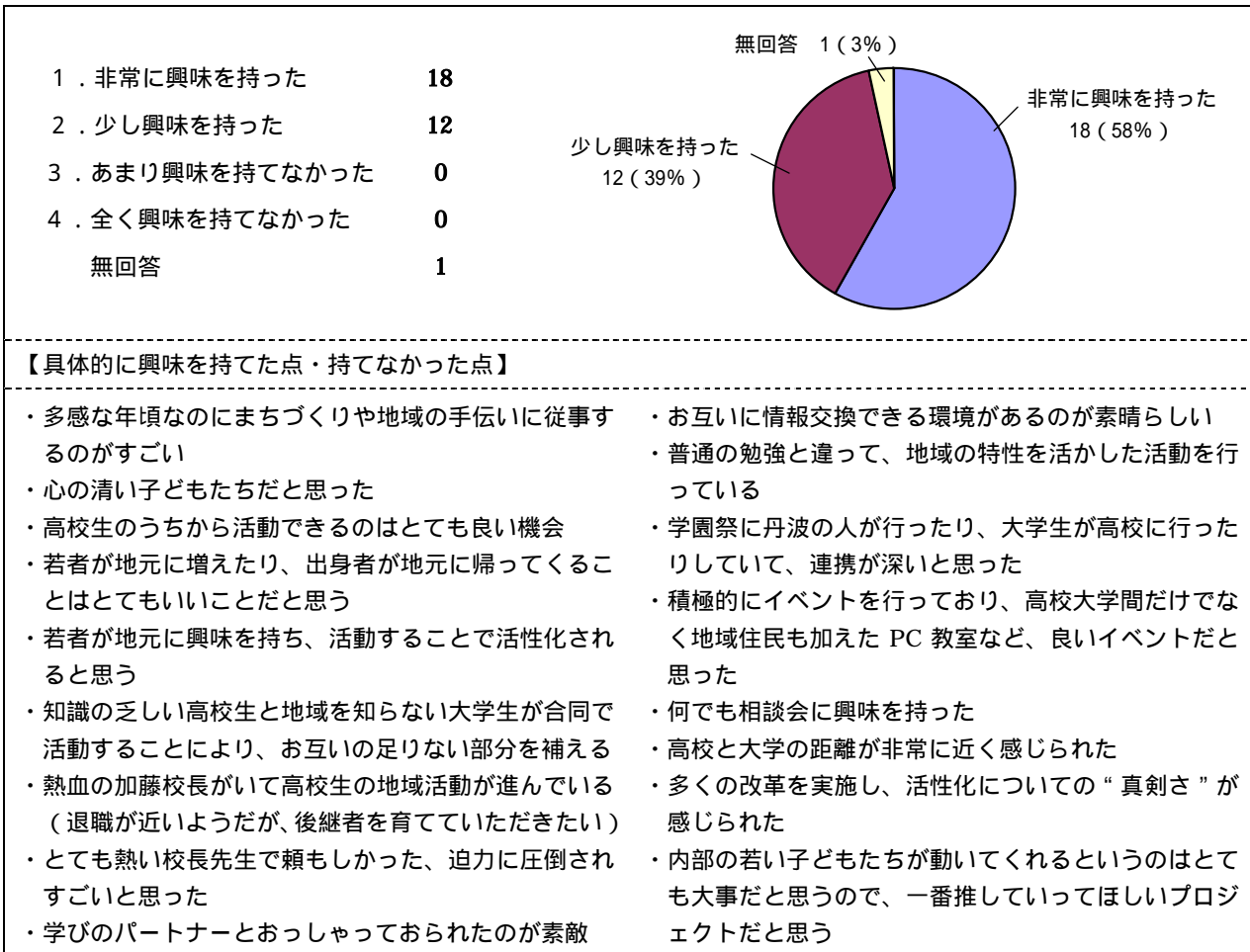
(関西大学との連携による空き家再生、佐治倶楽部などの活動)



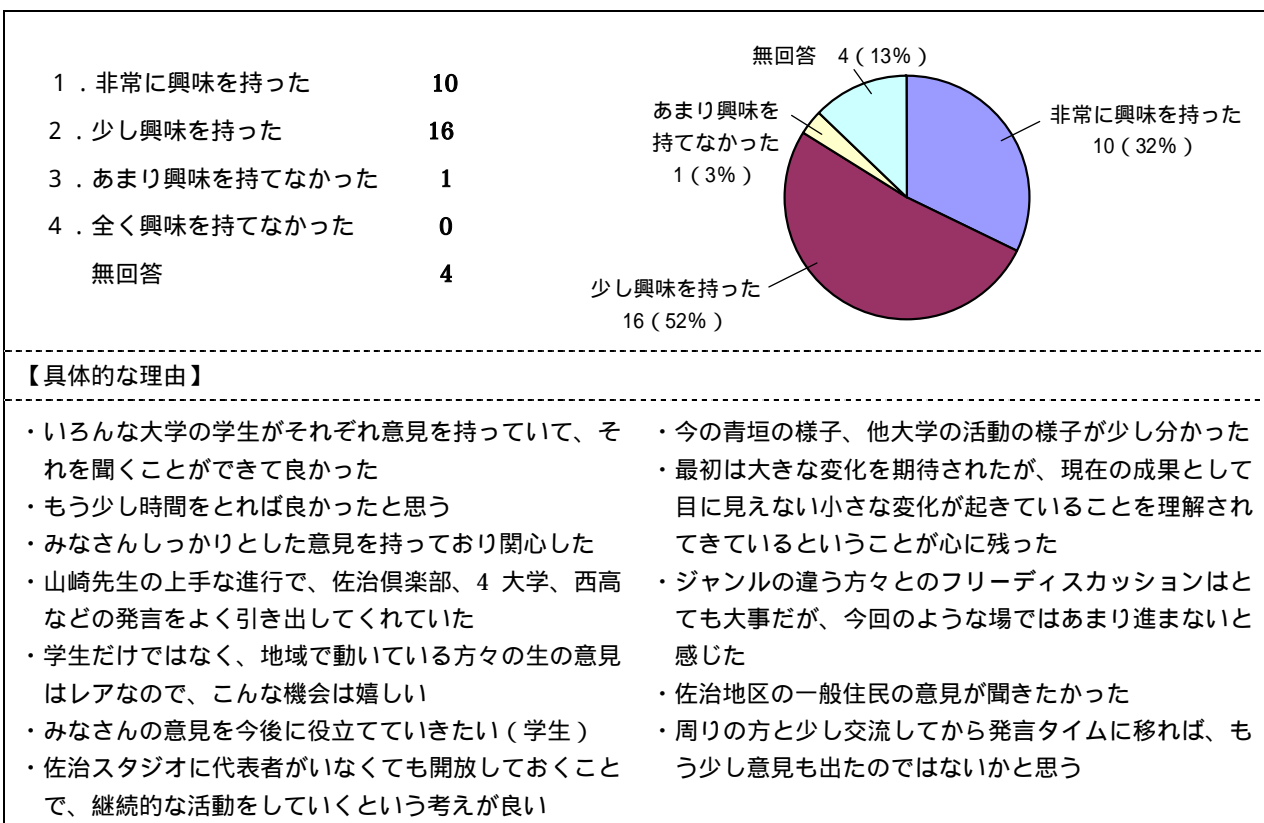
【具体的に興味を持てた点・持てなかった点】

- ・ 空き家を利用するアイデアが良かった
- ・ 2~3ヶ月に一度のまつりの内容が気になる
- ・ 自分のしている活動と似ているので興味深かった
- ・ 継続した活動のために、まずは「拠点」づくりをされた点
- ・ 関大とたくさんの連携事業を行っていたこと
- ・ 空き家をただ使うのではなく、それを改修し、かつ、大学以外の人たちも活用している点
- ・ 佐治倶楽部の活動が良い
- ・ よそ者の私（神戸からの移住者）から見て青垣（丹波）は、“守り”“排他”の社会だが、心ある地元の人は疑問を感じ、改革・改善を望んでいる
- ・ 佐治ミーティングは「まじる」「きづく」「かわる」の絶好の機会だと思う
- ・ 小さいことをコツコツと継続していくことの大切さが分かった
- ・ 空き家を改修して関大のスタジオをつくり、そこから連携を始めたと聞き、関学もそうやって繋がりたい
- ・ 空き家の再生には前々から興味を持っていた
- ・ “居場所”づくり
- ・ 研究員が常駐しているところ
- ・ 地域の人たちとの交流が持てる場所がある点が良いと思った
- ・ 継続するということを第一に活動していてすごいなと思った
- ・ 再生された空き家を見たが、とても立派なもので驚いた
- ・ 人の手が入らない家はやはり寂れてしまうものなので、誰かが手を入れることはいいことだと思った
- ・ 中高との連携や地元との連携
- ・ 商品を出品する形の店をもっと出すべきだと感じた
- ・ 地域コミュニケーションの大切さ

Q2.高校と連携した活動内容に興味を持ってましたか。

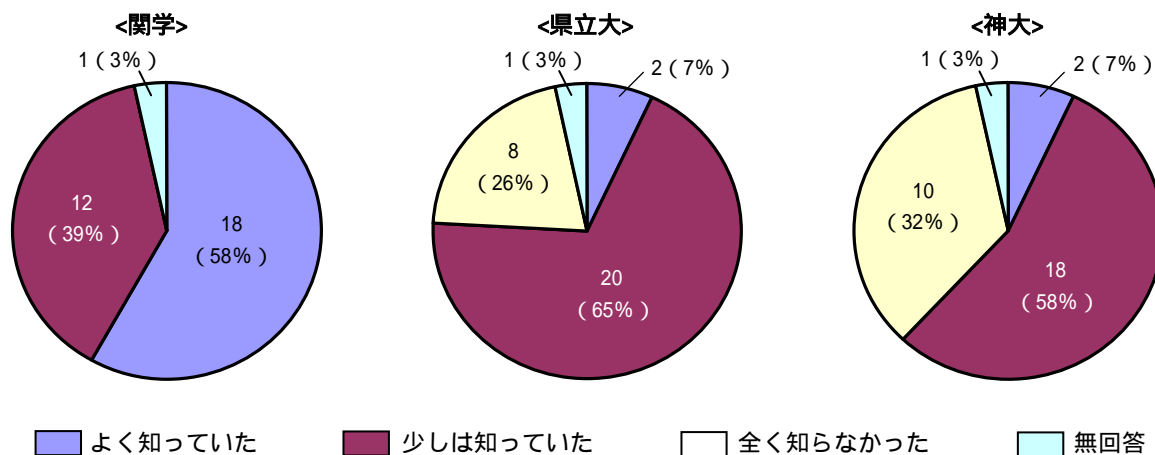


Q3.フリーディスカッションについて、内容に興味を持ってましたか。

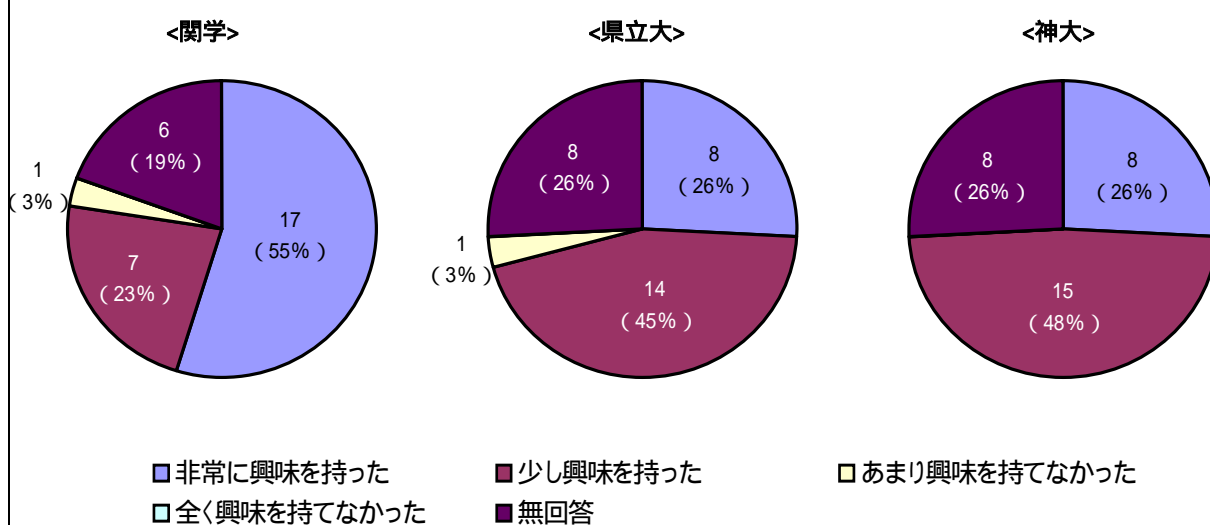


Q4.丹波地域における他大学の活動について、どの程度ご存知でしたか。また、興味を持ってましたか。

	関西学院大学 柏原スタジオ	兵庫県立大学 山南スタジオ	神戸大学 篠山フィールド・ステーション
1.よく知っていた	18	2	2
2.少しは知っていた	12	20	18
3.全く知らなかった	0	8	10
無回答	1	1	1

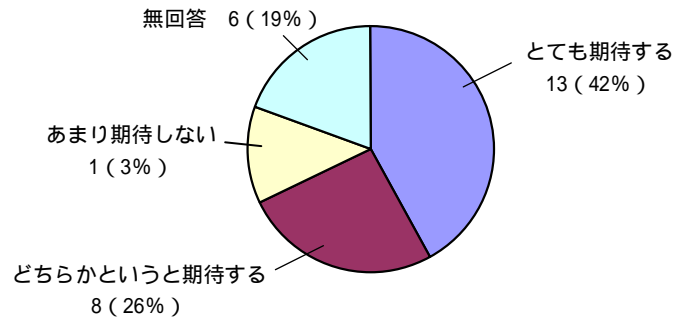


	関西学院大学 柏原スタジオ	兵庫県立大学 山南スタジオ	神戸大学 篠山フィールド・ステーション
1.非常に興味を持った	17	8	8
2.少し興味を持った	7	14	15
3.あまり興味を持てなかった	1	1	0
4.全く興味を持てなかった	0	0	0
無回答	6	8	8



Q5.お住まいの地域で大学生が活動することを期待しますか。また、何を期待しますか。

1. とても期待する	13
2. どちらかという期待する	8
3. あまり期待しない	4
4. 全く期待しない	0
無回答	6



【具体的に期待すること】

- ・学生には地域の一員として、地域活性化について一緒に考えていただくことと、関わり続けていただくことが何よりも大事
- ・人間サイズでの交流が大切で、「スタジオ+常駐員」がベースだと思う
- ・学生たちの一生懸命さが住民に伝わり、それが地域の活性化に繋がり、小さくても変化していくこと
- ・速効性のある成果はまずないだろうが、このように学生がまちのために一生懸命に活性化することが大事で、それを長く続けていくことが一番大事だと思う
- ・体育会部員の人たちが清掃活動をしているので、これからも継続して行ってほしい
- ・地域の人々に意識ややる気の変化が起きること
- ・各地域との連携で、新しい血が流れることが必要
- ・異なった目線、価値観の違いのある人が交わることで、新しい発見があってとても良いと思う
- ・本町ラボを再考する（三田市）
- ・地元住民は学生らしい発想を求めていると思う
- ・地域が活き活きすれば良いけれど、そんな大きなことを望むのではなく、学生が交流し合い、人の流れが増えれば良いと思う
- ・18～22歳の若者が消えてしまう丹波で、大学生がまちを歩くだけでも元気がもらえる
- ・「丹波で活動して単位がもらえる」という学生のドライな発想ではダメ、のめり込むような活動を学生にも指導者にも期待する
- ・全国では成功した例もあるので、学生に限らずとも、いろいろな形でまちを思うことは今後も期待する

Q6.本日のフォーラムについて、ご意見・ご感想などご自由にお書きください。

- ・大変良いフォーラムだった、今後も企画してほしい
- ・良いフォーラムだったので、是非また1日かけてやってほしい
- ・4大学の活動拠点で順番に毎年行くと、学生たちの活動の励みになると思う
- ・まち歩きなどを行っている若い層、壮年層、老年層が活躍している姿に、少子高齢化に負けてたまるかの意気込みを感じた
- ・地域と学校の連携に注目したい
- ・予想以上に良い雰囲気だった
- ・学生の質問が少ないのは仕方がないが、このような場はとても有意義だと感じた
- ・今回のように、情報を共有して今後の活動に活かそうという活動は良いと思うので、これからも継続していくべきだと思う
- ・小さな積み重ねの大切さを改めて感じた
- ・丹波地域全体で学生（大学）とのパートナーシップを結ぶ必要性を感じる
- ・他大学との交流は貴重だった
- ・もう少し広い場所でしてもらいたい
- ・パネラー、発言者、参加者が近い距離で意見交換できる大変面白いフォーラムになったと思う
- ・学生が地域と交流して、様々な活動を通して自己の認識をすることは、とても重要だと思った。そういった点でもイベントの企画運営は意義があると感じた
- ・4大学が刺激し合い競い合うことは、学生にとっても地域にとっても望むところ
- ・4大学の活動発表や交流の場を今後もつくってほしい
- ・もっと座談会かワークショップの時間をもちたかった
- ・佐治について全く知らないまま佐治に来たが、とても良い場所で、良い意見が聞けて良かった
- ・本当に学生との意見交換をしたいなら、30分の時間は短すぎる
- ・地元の方と4大学それぞれが混じり合って、5人くらいのチームで一つの課題「大学生と地域の今後の関わりを考える」などを話し合い、最後に共有できたらすごいと思う。せっかくお金と時間をかけてこんなに大学生を集めているのもったいない
- ・青垣の他の地区との関係等も知りたかった
- ・地域内の女性、ボランティア等との連携もこれからの課題かもしれない
- ・みなさんのまちへ対する想いが伝わってきて良かった

(2) 活動報告パワーポイント資料

《関西大学 TAFS 佐治スタジオ》





《氷上西高等学校》

高大連携・地域連携の概要
～4大学地域連携フォーラム in 青垣



MIKAMI
HIGH SCHOOL

平成23年 11月 3日
兵庫県立氷上西高等学校
校長 加藤 昌宏

レインボーランで変わります!
～たんばに根ざし、明日のたんばを担うづくり～



MIKAMI
HIGH SCHOOL 県立氷上西高等学校


H24年度、連携型中高一貫教育校へ!

□ 出身中学校別生徒数 (H23年11月3日現在)

中学校	1年	2年	3年	合計
氷上	17	11	10	38
青垣	6	9	13	28
春日	4	1		5
市島	2	3		5
柏原	2	2		4
和田	1	1	1	3
山南	1			1
丹南		1		1
合計	33	28	24	85

両校で約8割
(中高一貫教育
の連携先)

「たんば」
の西高
だね



MIKAMI
HIGH SCHOOL **西高レインボーラン**

- 改革1** 丹波地域連携型中高一貫教育校に(H24～)
- 改革2** 少人数教育と大学進学対応の強化(H23～)
- 改革3** 情報力強化等特色ある3類型新設(H25～)
- 改革4** 市や地域の諸団体、関西大との連携拡充
- 改革5** 全員入部・外部コーチで部活動を活性化
- 改革6** マレーシアへの探究型修学旅行に(H24～)
- 改革7** 市花カタクリがモチーフの制服に(H24～)

その他 通学バスの確保、ランチサービスなど

■ 特色ある教育活動(1)

・中高連携授業の相互支援・補助
～中学校における中高教員によるティームティーチング授業
や中高教員の資質向上をめざした研究協議の実施



「数学」IT授業(青垣中にて)



「数学」IT授業(氷上中にて)

その他の取組

- 本校の若手教員や教育実習生が中学校の授業を参観
- 本校より「英語」、「体育」の教員派遣を検討
- 中学校からの教員派遣を検討
- 公開授業週間に中高合同研修会を実施



公開授業・研究授業(本校にて)



中学校別懇談会(本校にて)

■ 特色ある教育活動(2)

・中高連携の教育活動の実施
～総合的な学習の時間、学校行事、部活動等



クリーンアップ作戦(青垣中と、7月)



給食搬送ボランティア(青垣中と、7月)



農業研修(氷上中と、8月)



部活動合同練習(青垣中と、8月)



文化祭での連携(青垣中にて、10月)



合同芸術鑑賞(青垣中と、11月)

■特色ある教育活動(3)
 ・地域の人材や施設を活用したまちづくりの担い手育成①
 ～大学と連携したフィールドワークの実施

國大生とのまちづくり研修(23年,本校) 國大出町氏特講(22年,本校) 丹波市のPR活動(22年,國大生協)

写メスタ(21年,丹波の森若者塾) 土田うどん出店(22年,八宿まつり) つくりもの支援・基金活動(23年,慶寄まつり)

■特色ある教育活動(4)
 ・地域の人材や施設を活用したまちづくりの担い手育成②
 ～幼保小学校との連携

オオムラサキ飼育(小中高地域連携) ふれあい育児体験(こども園との連携) いきいき英語教室(小高連携)

たんぽ子ども塾・理科実験(本校にて,8月,青少年本部) 少年少女将棋・オセロ大会(本校にて,8月,市特選連盟) 就業体験事業「インターンシップ」(2年全員,市内各事業所)

■特色ある教育活動(5)
 ・地域の人材や施設を活用したまちづくりの担い手育成③

高瀬寺での座禅体験(1年全員,4月) パラグライダー飛行体験(1年全員,9～10月) 丹波もみじの星ハーフマラソン大会(全校生,11月)

インターンシップ(2年全員,市内各事業所) 福祉体験講座(手話・点字・介護等,全学年・通年) 施設見学(1年,森林動物研究センター,丹波市伝承館,権野記念美術館など)

■特色ある教育活動(6)
 ・地域の人材や施設を活用したまちづくりの担い手育成④

丹波市の星まつり(6月,市観光協会) 道の駅おがきのタペ「出店」(7月,市観光協会) 水上成松・慶寄まつり(8月,市観光協会)

パソコン講座(10月,本校にて,佐治自治協主催) 地元アーティストの演奏(11月,本校文化祭) 「郷土の文化・歴史」連続講座(水上郷土史研究会)

加藤 昌宏さん
 編纂委員
 全てのニーズに応える

市内最小規模の高校が生き残る道は？
 部活の活性化に成功

神戸新聞 H23.10.31

丹波大学博物館でも恒例
 丹波大学博物館ニュース2010 10/8

丹波大学博物館でも恒例
 丹波大学博物館ニュース2010 10/8

輝く地域の星となれ
兵庫私立地上西高等学校 School News

11月12日(土) 9:40～ 於 氷上西高等学校

足立 知康 星輝リコンサート☆高垣

足立 知康
Takeshi Adachi
音楽指導員

三田 裕子
Yuko Mita
JAZZ - 吹奏楽部
顧問

木暮 大輔
Takuma Kimura
吹奏楽部、生徒会
副会長

10:45～

爆笑！柱かい枝の実話落語

11:30～

日時：平成23年11月9日(水) 13:20～
於 青垣住民センター

※一般の方々のご来場は自由です。是非ご観覧ください。

氷上西高校・青垣中学校
中高合同芸術鑑賞会

氷上西高 文化祭

11月12日(土) 9:40～ 於 氷上西高等学校

ラモス雅徳 氏 西高に来たる！

足立 知康
Takeshi Adachi
音楽指導員

三田 裕子
Yuko Mita
JAZZ - 吹奏楽部
顧問

木暮 大輔
Takuma Kimura
吹奏楽部、生徒会
副会長

10:45～

爆笑！柱かい枝の実話落語

11:30～

日時：平成23年11月9日(水) 13:20～
於 青垣住民センター

※一般の方々のご来場は自由です。是非ご観覧ください。

兵庫県立地氷上西高等学校スローガン

輝く地域の星となれ

県教育委員会による指定事業 (H23)

- ① 魅力あるひょうごの高校づくり推進事業
～中高連携・地域連携重点指定校～
- ② 高校教育改革に係る特色化支援事業
- ③ 心のサポートシステム研究開発校

N I E (教育に新聞を!) 実践指定校 (H23～24)

(3) 開催チラシ

大学地域連携フォーラム in 青垣

「大学と連携して地域を考える」

～まじる・きづく・かわる～



関西大学佐治スタジオ

農山村集落での二十一世紀のふるさとづくり



兵庫県立大学山南スタジオ

恐竜化石等の資源を活かしたまちづくり

農業・農村体験を通じた交流・地域活性化



神戸大学篠山フィールドステーション

ワークショップやカフェなどによる中心市街地活性化



関西学院大学柏原スタジオ

丹波地域では、現在4つの大学が活動拠点を確保し、各地域の課題を踏まえ、それぞれ違ったテーマで地域と連携した活動を展開しています。この度、青垣町佐治地区で毎年秋に行われている祭り「丹波八宿青垣の秋」開催に合わせ、「大学地域連携フォーラム in 青垣」を開催いたします。当日は、空き店舗等を活用した展示ブースでの活動PR、座談会において地域住民の方々との意見交換を行い、学生と地域が交わり、お互いどう気づき、どう変わっていくかなどについて考えます。多数のご参加をお待ちしております。

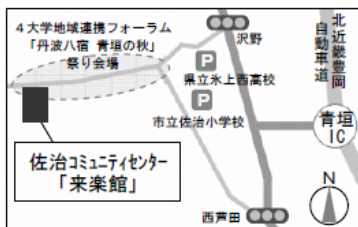
とき

2011年11月3日(木・祝)
10:00~15:00(座談会10:30~11:30)

ところ

丹波市青垣町佐治地区
佐治コミュニティセンター「来楽館」

〒669-3811 丹波市青垣町佐治 619-2
TEL: 0795-87-2608



■展示ブースでの活動PR (10:00~15:00)

○空き店舗等を展示ブースとして活用し、各大学がそれぞれの地域連携活動を報告します。

- ・パネル、映像などを使った各大学の活動紹介
- ・大学の開発商品(スイーツ等)などの食品の出品
- ・恐竜化石の発掘体験イベントなど

■座談会 (10:30~11:30)

【会場: 佐治コミュニティセンター「来楽館」】
《プログラム》

○佐治地区における取組報告

- ・空き家再生などの取組 —— 地元代表者
- ・高校連携の取組 —— 県立水上市高校長

○意見交換

- ・学生や地域住民によるテーマを踏まえたフリーディスカッション、各大学の取組紹介など

●申込み・問い合わせ先

大学地域連携フォーラム実行委員会事務局
兵庫県丹波県民局丹波土木事務所まちづくり建築課
〒669-3309 丹波市柏原町柏原 688
TEL: 0795-73-3862 FAX: 0795-72-4596

●参加申込み方法

参加申込書(裏面)に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。(電話も可) ※参加無料
【申込み締切: 平成23年10月28日(金) 必着】

主催: 大学地域連携フォーラム実行委員会

共催: 兵庫県丹波県民局

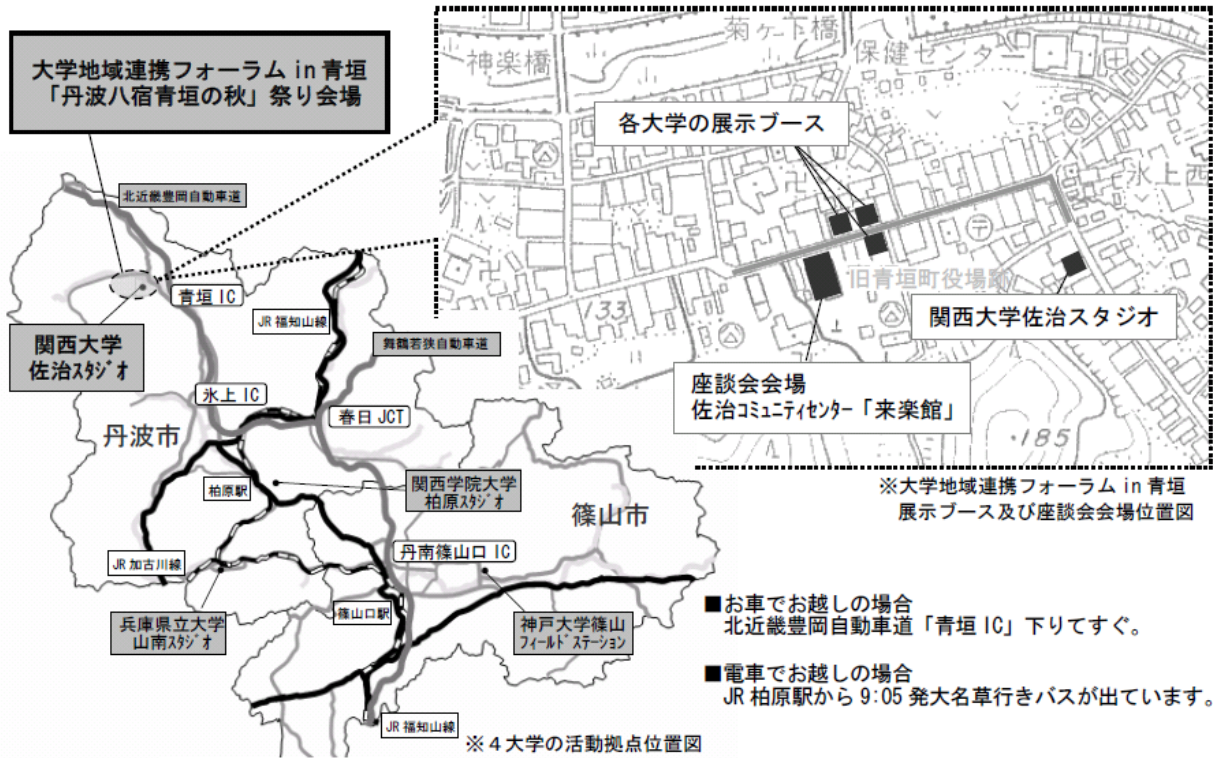
協力: 関西大学、関西学院大学、兵庫県立大学、神戸大学大学院農学研究科地域連携センター、丹波市、篠山市、(株)まちづくり柏原、丹波市商工会青垣支部、兵庫県立水上市高等学校、兵庫県立篠山東雲高等学校、兵庫県立篠山鳳鳴高等学校

後援: 朝日新聞神戸総局、毎日新聞神戸支局、読売新聞豊岡支局、産経新聞豊岡支局、神戸新聞社、丹波新聞社



「丹波八宿青垣の秋」祭りは、かつての宿場町・佐治市街地を交流型定住の拠点としての宿場町に再生することを目的に、商工会青垣支部が中心となり、地域住民と協働し、空き家や空き店舗、まちなみを活用し出店や展示、飛脚リレー等の楽しいイベントが数多く実施され、毎年たくさんの方が訪れます。

丹波八宿 青垣の秋



■参加ご希望の方は、以下にご記入の上、FAXにて事務局へお申し込みください。※電話でのお申し込みも可能
■ご記入いただいた個人情報は、「大学地域連携フォーラム in 青垣」参加者数の把握以外の目的には使用しません。

大学地域連携フォーラム in 青垣 座談会		参加申込書	
ふりがな 氏名 (グループの場合は代表者)		参加人数	名
住所	〒		
職業 (所属等)	()	会場への交通手段	<input type="checkbox"/> 自動車
電話番号			<input type="checkbox"/> 電車
			<input type="checkbox"/> 徒歩等

FAX 0795-72-4596

(4) プログラム資料



大学地域連携フォーラム in 青垣

大学と連携して地域を考える
～まじる・きづく・かわる～

日時

平成23年11月3日(木・祝)
10:30～11:30(開場10:00)

場所

佐治コミュニティセンター「^{きらくかん}来楽館」
〒669-3811 丹波市青垣町佐治 619-2
TEL: 0795-87-2608



主催：大学地域連携フォーラム実行委員会

共催：兵庫県丹波県民局

協力：関西大学、関西学院大学、兵庫県立大学、神戸大学大学院農学研究科地域連携センター、丹波市、篠山市、(株)まちづくり柏原、丹波市商工会青垣支部、兵庫県立氷上西高等学校、兵庫県立篠山東雲高等学校、兵庫県立篠山鳳鳴高等学校

後援：朝日新聞神戸総局、毎日新聞神戸支局、読売新聞豊岡支局、産経新聞豊岡支局、神戸新聞社、丹波新聞社

大学と連携して地域を考える



現在丹波地域では、関西大学、関西学院大学、神戸大学、兵庫県立大学がそれぞれ活動拠点を確保し、各地域の課題を踏まえ、それぞれ違ったテーマで地域と連携した活動を展開しています。

この度の大学地域連携フォーラム in 青垣における座談会では、関西大学が活動している佐治地区における取り組み報告のほか、フリーディスカッションによって地域住民の方々と大学生との自由な意見交換を行い、学生と地域が交わり、お互いにどう気づき、どう変わっていくかなどについて考えます。

また、空き店舗等を展示ブースとして活用し、パネルや映像などを使った各大学の活動紹介や、恐竜化石の発掘体験イベントなどを実施しています。皆様にご覧いただき、今後の大学と地域の連携活動の発展を考える契機となれば幸いです。

プログラム

- 10:00 ———— 開場
- 10:30 ———— 開会
開会挨拶 大学地域連携フォーラム実行委員会副会長 角野 幸博
兵庫県丹波県民局長 伊藤 聡
- 10:40 ———— 佐治地区での取り組み報告
空き家再生、佐治倶楽部などの取り組み 地元代表 足立 宏
高校連携の取り組み 兵庫県立氷上西高等学校校長 加藤 昌宏
- 11:00 ———— フリーディスカッション
コーディネーター
兵庫県立大学自然・環境科学研究所 講師 山崎 義人
- 11:30 ———— 閉会

佐治地区における取り組み

かつて宿場町として栄えた面影を残す青垣町佐治。妻入り町家が多く建ち並ぶまちなみや街道そして周囲を取り囲む山々が佐治の魅力的な景観を作っている。

関西大学による空き家リノベーションや空き家活用サークル「佐治倶楽部」の立ち上げ、「丹波八宿 青垣の秋」「丹波布の里祭り」といったまちなみを活かしたイベントなど、

地域の課題である空き家を含めたまちなみ景観を地域資源として活用していく活動が活発化している。

また、このような活動が地域内だけで企画されているのではなく、関西大学を始めとした都市部など他の地域との継続的な関わり(交流型定住)の中で協働する仕組みが出来つつあることも、佐治の取り組みの特徴ともいえる。

関わり続けるという定住のカタチが、少しずつ佐治の空気を変え始めているように感じる

山頂から佐治を見る

出演者プロフィール

(敬称略)



足立 宏 (あだち・ひろし)
地域住民代表

1945年兵庫県生まれ。同志社大学工学部卒業。メーカーにおいて、研究開発、生産技術、海外工場のマネジメント等を担当。専門は計測・制御関係、計量士。一昨年監査役を最後に退社。地域活動として、区長や地域の各役員等を歴任。その間、地域コミュニケーションを重視した活動を行う。



加藤 昌宏 (かとう・まさひろ)
兵庫県立氷上高等学校 校長

1951年篠山市生まれ。立命館大学卒業。民間企業(VAN~SEIYU)勤務を経て高校教員に。神戸大大学院で情報化時代の社会科学教育を研究。近年は新設校・統合校など高校改革の最前線に立つ。現在は丹波地域連携型中高一貫教育校への改編など、魅力ある西高づくりに邁進している。



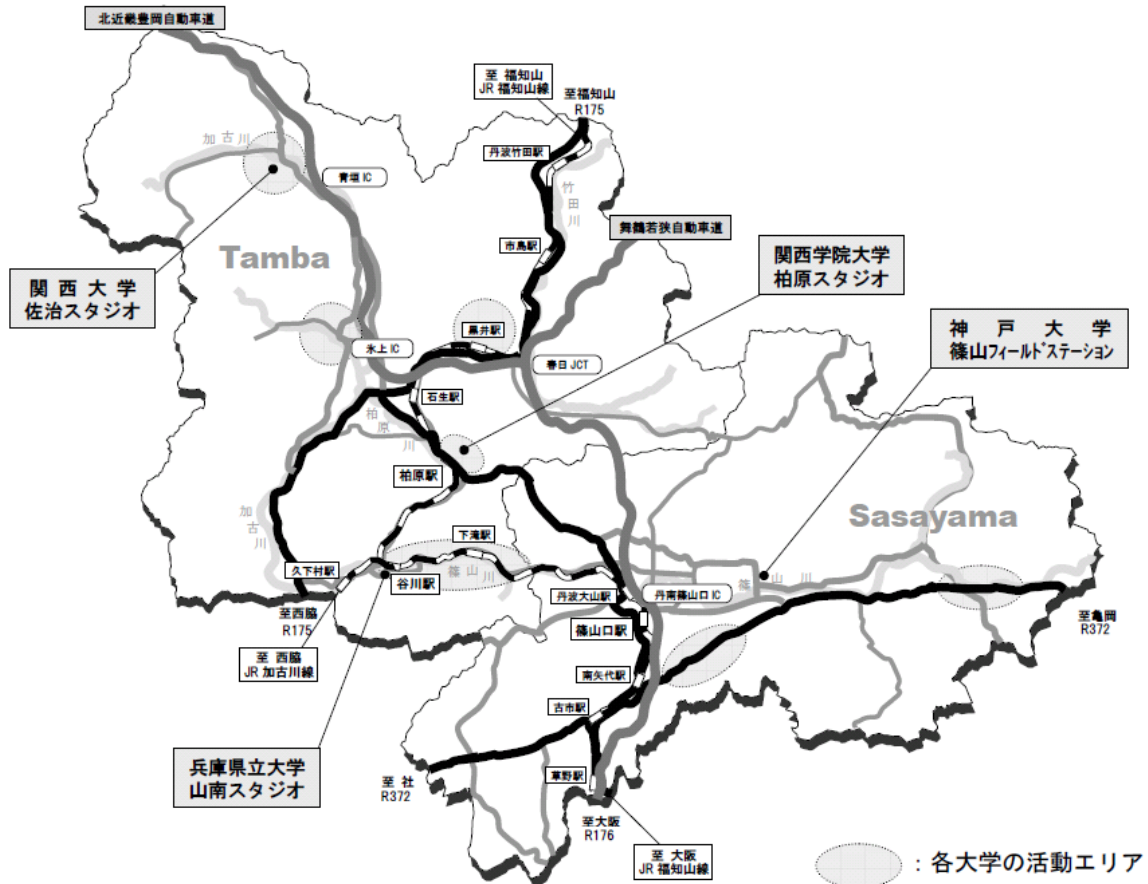
山崎 義人 (やまざき・よしと)
兵庫県立大学自然・環境科学研究所 講師

1972年神奈川県生まれ。早稲田大学にて後藤春彦氏に師事し、まちづくり・地域再生を学ぶ。博士(工学)。神戸大学大学院COE研究員を経て、2008年4月より現職。兵庫県立人と自然の博物館研究員兼務。著書に「まちづくり批評」(共著、ピロティ)、「いま、都市をつくる仕事」(共著、学芸出版社)等。



出町 慎 (でまち・まこと)
関西大学 TAFS 佐治スタジオ 研究員

1982年奈良県生まれ。関西大学工学部建築学科卒業。2006年、日本建築学会近畿支部主催のまちづくり提案コンペに関西大学チームとして出展し、丹波市長賞を受賞したことを機に、研究分野である、建築環境デザインの視点から、丹波市における地域再生に関わり続けている。



丹波地域 4大学の活動エリア図

(5) 「丹波八宿 青垣の秋」チラシ

丹波八宿 青垣の秋

11月3日

当日は会場から高源寺・熊野神社への
無料シャトルバスが運行しています

高源寺の山開き



丹波もみじ三山のひとつ高源寺。本堂・三重塔・山門など見所が多く、奇じた石段の参道を眺め尽くす紅葉のトンネルは他国でも珍らしい。

青垣町佐治市街地のメインストリートを用いた毎年恒例の「青垣の秋」。

青垣の秋の風物詩「宿場町飛脚リレー」。


丹波伝統の「丹波布」展示。

豪快な「チェンソーアート」。

丹波地域を考える大学地域連携フォーラム(関西4大学)街頭に並ぶ特産市。

復活 懐かしい味の「栗弁当」や「土田うどん」、青年部熱演の「リアル紙芝居」など、丹波地方の情緒豊かな秋をお楽しみください。

熊野神社の裸まつり



毎年秋の文化財にも指定されている出雲熊野神社はたが祭礼に平織新調した裸が奉納したあられとして、別なちり紙みんとおめではけしめまつり合う珍しい祭です。

青垣の秋 会場



イベント会場



至遠阪トンネル
427
小倉
至播州トンネル
駐在所
1
丹波八宿 青垣の秋
小倉
道の駅 あおがき
西声田
至氷上
北近畿豊岡自動車道
青垣IC
至氷上IC

お問合せ先：「丹波八宿青垣の秋」実行委員会 TEL(0795)87-0372

関大など4大学

地域交流へ
フォーラム

来月3日青垣

鎌山、丹波両市に活動拠点を設ける関西大学など4大学と地域住民が、交流を進める上での課題を話し合う「大学地域連携フォーラムin青垣」が11月3日、丹波市青垣町佐治の佐治コミュニティセンター「来楽館」で開催される。参加するのは、神戸大篠山フィールドス

テーション▽関西大佐治スタジオ▽関西学院大柏原スタジオ▽県立大山南スタジオの4大学。学生と住民の座談会は

午前10時半から1時間。佐治のまちづくりに関わる関西大と地元住民が活動報告した後、学生と住民が意見交換する。来楽館周辺の空き家では、各大学が活動状況をパネルなどで紹介する。無料。座談会参加希望者は2日までに県丹波土木事務所申し込む。同

事務所 ☎0795・733862

平成 23 年 10 月 29 日 神戸新聞

学生と住民意見交換

11月3日 大学連携フォーラム

丹波地域に活動拠点を設ける関西大学の4大学が、11月3日、関西大学、兵庫県立大学、神戸大学、関西の秋」に合わせ、佐治

コミュニケーションセンター「来楽館」(青垣町佐治)で「大学地域連携フォーラムin青垣」(大学地域連携フォーラム実行委員会主催)を開く。同実行委員会は、参加者を募集している。

午前10時から午後3時まで、展示ブースで各大学が活動をPR。午前10時半からは、地元代表や水上西高校長による、佐治地区の取り組みが報告され、4大學生と住民が意見交換を行う。

関西大学佐治スタジオは「農山村集落での二十一世紀のふるさとづくり」、兵庫県立大学山南スタジオは「恐竜化石などの資源を生かしたまちづくり」、神戸大学篠山フィールドステーションは「農業・農村体験を通じた交流・地域活性化」、関西学院大学柏原スタジオは「ワークショップやカフェなどによる中心市街地活性化」。

28日まで、同実行委員会事務局(0795・733862)。

平成 23 年 10 月 23 日 丹波新聞

大学・地域連携探る

町で
青垣佐治

学生ら意見交換

1/6
4/24



報告者の話に耳を傾け、質問する学生たち。佐治来楽館で。

丹波地域の住民と学生を中心に、佐治来楽館（青垣町佐治）で3日、「大学地域連携フォーラム」が行われた。氷上西

高校校長の加藤昌宏さんは、大学や地域、中学と連携した教育を実践していることを説明し、地域住民代表の足立宏さんは

空き家再生と、佐治俱樂部の活動について報告。このあと、来場者と意見交換を行った。

フォーラムには丹波地域で地域づくりにかかわっている学生が参加。学生からは、「丹波に常駐できない学生が、地域と連携するにはどうすべきか」「活動の中で見えてきた、連携の成果や課題は何か」などの質問が出た。

それらの質問に、学生と地域の連携を強めるには、地域の代表者と呼びかけて地域住民を巻き込んでいく提案が出ていた。また、佐治スタジオの出町慎さんは「活動の中で、

徐々に目に見えない変化を住民とともに実感している。それを継続させていくのが課題」と話した。フォーラムに参加し、篠山市の里山整備に参加したことがある神戸大農学研究所の関優里香さん（28）は「篠山の活動が、地域のためになっていると話した。

地域連携活動

4大学が紹介

丹波で3日

丹波地域に活動の拠点を設け、それぞれ違ったテ

マで地域連携活動を展開している関西大、関西学院大、県立大、神戸大の4大学による「大学地域連携フォーラムin青垣」（実行委員会主催、朝日新聞神戸総局など後援）が3日、丹波市青垣町佐治の佐治コミュニティセンター「来楽館」である。

午前10時から空き店舗などを展示ブースとして活用し、各大学がそれぞれの活動内容を紹介する。学生や地域住民が意見交換する座談会もある。

申し込みは2日締め切り

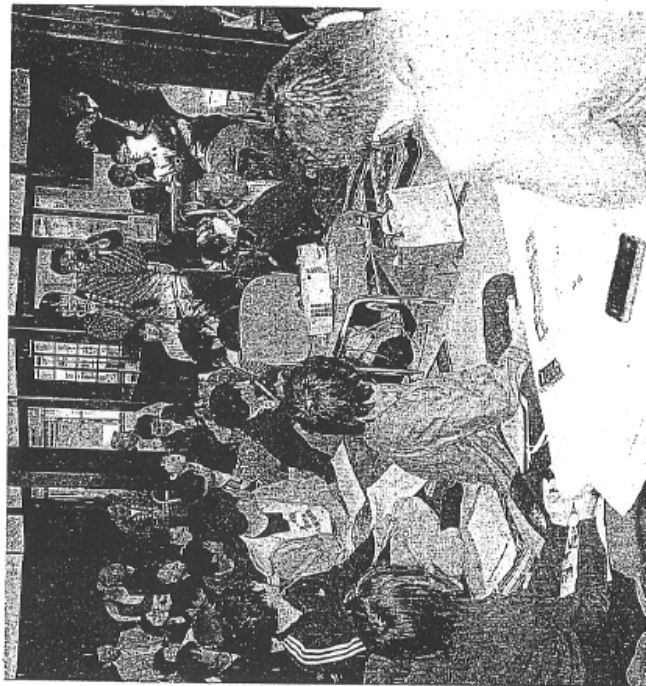
で、電話でも可。問い合わせは、県丹波土木事務所まちづくり建築課（0795・73・38862）へ。

平成 23 年 11 月 1 日 朝日新聞

平成 23 年 11 月 6 日 丹波新聞

丹波活性化4大学議論

丹波地方に活動拠点を構えて地域の課題を研究したり住民と共同で解決に取り組んだりしている4大学の学生や研究者らが参加して情報を交換する「大学地域連携フォーラム―丹波―」（読売新聞豊岡支局など後援）が3日、丹波市青垣町の佐治コミュニティーセンター「喜楽館」で開かれた。各大学の活動成果報告に対し、活発に意見が交わされた。（丹波通信部 田中聡）



地域の活性化などについて意見を交わす参加者（丹波市青垣町の佐治コミュニティーセンター「喜楽館」で）

関西、県立、関学、神戸

丹波地方では、丹波市青垣町で関西大、同市山南町で県立大、同市相原町で関西学院大、篠山市で神戸大が、地域の活性化や町づくりなどをテーマに活動している。

各大学や地域の交流と連携を深めようと、県丹波県民局が事務局となって初めてフォーラムを開催。住民や行政関係者らも合わせて約100人が参加した。

関西大の出町慎・研究員らが、2007年から青垣町佐治地区で空き家を活用し、住民や県立水上市高高校と交流スペースの整備やイベント企画などの活動

成果報告や課題探る

をしていることについて報告。他の3大学の学生から「丹波に常駐できない。どうすればカバーできるのか」との質問が出た。

これに対し、出町研究員や佐治地区の住民らは「常に地域住民に開放した場所を設け、学生がいなくても人が集まる機運を作つてはどうか」「地元自治会の役員との協力を取り付けることが大切」とアドバイス。

「青垣町での活動の成果と課題は何か」との問いには、「学生が町に入ることによって、住民に元気が出てきた。継続することが力であり、課題でもある」と答えた。

(7) 実行委員会

大学地域連携フォーラム実行委員会 会則

(名称)

第1条 この会は、大学地域連携フォーラム実行委員会（以下「実行委員会」という。）という。

(目的)

第2条 実行委員会は、丹波地域において大学が地域と連携して行うまちづくりや農業等に関する活動の発信及び大学と地域の連携の発展を目的とした「大学地域連携フォーラム in 青垣」の実施に関する企画調整及び進行管理を行い、適切かつ円滑に遂行することを目的とする。

(事業)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 企画及び事業計画の策定に関する事
- (2) 総合調整及び進行管理に関する事
- (3) 広報活動の推進に関する事
- (4) その他必要な事項

(構成員)

第4条 実行委員会は、別表に掲げる者をもって構成する。

(役員)

- 第5条 実行委員会に、会長1名、副会長2名を置く。
- 2 会長は、委員の互選によりこれを定め、副会長は委員の中から会長が指名する。
- 3 会長は、実行委員会を代表し、会務を総括する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長が不在のとき、または会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 5 監事は、丹波県民局丹波土木事務所工事業務課長をもって充てる。
- 6 監事は、会計を監査する。

(会議)

第6条 実行委員会の会議は、必要に応じて会長が招集し、会長がその

議長となる。

- 2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員が、事故その他やむを得ない理由により会議に出席できないときは、あらかじめ会長の承認を得て、代理人を出席させることができる。
- 4 実行委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(会長の専決処分)

- 第7条 会長は実行委員会を招集するいとまがないとき、又は本会の権限に属する事項で簡易なものについては、これを専決処分することができる。
- 2 前項の規定により専決処分したときは、会長は、これを次の実行委員会において報告し、その承認を求めなければならない。

(会計)

- 第8条 実行委員会の会計は、事務局が処理する。
- 2 実行委員会の経理は、負担金その他の収入をもって充てる。

(事務局)

- 第9条 実行委員会の事務局は、兵庫県丹波県民局丹波土木事務所まちづくり建築課に置く。
- 2 事務局長は、兵庫県丹波県民局丹波土木事務所まちづくり建築課長の職にある者をもって充てる。

(補則)

- 第10条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この会則は、平成23年9月15日から施行し、平成24年3月31日限りで失効する。

別表

大学地域連携フォーラム実行委員会委員

(順不同)

氏名	分野	所属団体・役職	備考
江川直樹	学識経験者	関西大学 環境都市工学部 教授	会長
角野幸博	学識経験者	関西学院大学 総合政策学部 教授	副会長
田原直樹	学識経験者	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授	副会長
高田理	学識経験者	神戸大学大学院 農学研究科 教授	委員
上田英樹	行政	篠山市 政策部長	委員
中川泰一	行政	丹波市 まちづくり部長	委員
近藤俊幸	行政	丹波市 産業経済部長	委員
北中五雄	行政	兵庫県 丹波県民局丹波土木事務所 まちづくり参事	委員
山野廣史	行政	兵庫県 丹波県民局丹波土木事務所 工事業務課長	監事

<事務局> 丹波県民局 丹波土木事務所 まちづくり建築課長 瀬尾 保志